



# 身延清稜小だより

身延町立身延清稜小学校 TEL.0556-42-2520  
令和3年11月11日 校長 佐野三代司  
学校教育目標「進んで学び やさしい心もち  
心身ともにたくましい児童の育成」

## 実りの秋を迎えています

感染症対策をしながらも、充実した学校生活です

### 「プログラミング教育」 公開研究会を行いました

11月5日(金)、本校において、峡南地域の多くの学校から先生方が来校し、公開研究授業及び研究発表会が開かれました。

本校は、令和2年度と3年度、山梨県教育委員会指定の「小学校プログラミング教育推進事業」の推進指定校として、現在の学習指導要領から、新たに位置づけられた「プログラミング教育」について研究を進めてきました。

この日は、5年生が「プログラミング教育」を取り入れた算数の授業を、大勢の来校者の前で行いました。タブレット型パソコンを操作しながら公倍数を求めていく子どもたちの姿に、参観していた来校者も感心していたようでした。身延町では、ICT教育を積極的に推し進め、既に児童1人1台パソコンが整備されています。日頃の学習でも、高学年を中心に日常的に活用する取り組みが進められています。



## 福祉講話集会で手話を学びました

10月26日(火)、学校に、市川三郷町聴覚障害者協会、市川三郷手話サークル「神明」の方々に来ていただき、福祉講話集会を全校児童参加で行いました。聞こえない方に実際に接することがほとんどない子どもたちにとっては、とても貴重な機会です。

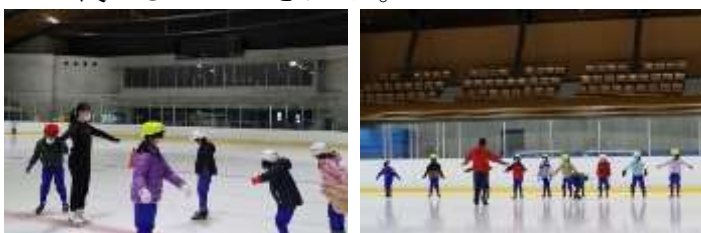
聞こえない方から、手話通訳の方を通して、普段の生活についてわかりやすくお話していただいたり、簡単な手話を教えていただいたりしました。まずは、福祉講話として、私たちの社会にはいろいろな人がいて、子ども、おとな、お年寄りがいるように、見えない人、聞こえない人、車椅子の人が、みんな一緒に暮らしていること。みんなが気持ち良く暮らせるように、お互いに助け合うことや、そのために声を掛け合うことが大切なことを話してくださいました。(今回の福祉講話集会は、身延町中ノ倉の渡辺将樹さんにご尽力いただき、実現しました。)

#### 1年生児童の感想から

- 手話をしている人の顔を見ていたら、一生懸命でした。ぼくも話を一生懸命聞かなきゃと思いました。
- 手話で話す人を見て、たいへんそうだけど、うれしそうでした。人と話すときは、元気よく大きな声で話したいです。



**1・2・3年生**は、10月29日(金)にスケート教室に出かけました。最初にリンクに出た時には恐る恐るだった子どもたちも間もなく滑れるようになり、午後には、楽しそうに滑ることができるようになりました。お天気にも恵まれ、お家の方に用意していただいたお弁当を、日当たりの良いアイスアリーナ前でシートを敷いて食べることができました。



**4年生**は、10月12日(火)に信玄堤や県庁を見学する社会科見学に出かけました。釜無川堤防から、信玄堤を見学したり、県庁防災新館の交通指令センターの様子を見学したりして、社会科の学習を現地で深めることができました。



**5年生**は、10月20日(水)に、林間学校を実施しました。身延町平須「みのぶ自然の里」を訪ね、防災カレーライスづくり、あけぼの大豆収穫体験、手作りピザ体験等、内容盛りだくさんの1日を過ごしてきました。あけぼの大豆収穫体験にはみのワンたち、ゆるキャラも登場し、笑顔一杯の林間学校となりました。



**6年生**の修学旅行は、コロナ対策のため、12月に延期となっています。修学旅行は、昨年町内3小学校合同で実施していて、12月には、町内の小学校6年生と一緒に、小学校の最大の思い出となる修学旅行に、無事出発できることを楽しみにしています。10月13日(水)には、事前学習会として下山小学校体育館に集合し、初顔合わせとなりました。

それぞれの小学校で最高学年として活躍している6年生が、共通の体験をして、共通の思い出をつくること、それを大切にしながら中学校へ進学していくことで、よりよい中学校でのスタートが切れることも期待されます。

この日は、修学旅行テーマ「全員で学びと絆を深め、協力し合う3日間」を決め、自己紹介をしました。その後の交流の時間には少し照れながら、楽しそうに他校の子どもたちと言葉を交わす6年生の姿が見られました。修学旅行は12月2日から2泊3日、静岡県へ出かけます。



明日12日(金)は、授業参観、学校保健委員会、学年部会が行われます。また、今月末から個別懇談があります。お忙しいこととは思いますが、ご参加よろしくお願いたします。

